

## 「大山町五色百人一首大会」の取り組み

### 【大会中止の危機が…】

大山町内4つの小学校では、クラブ活動や校内大会などで「五色百人一首」に取り組んでいます。「大山町五色百人一首大会」は、他校児童との交流や練習の成果を発揮できる機会となっていました。ところが、平成30年度からは、予算や人的体制の事情により大会が開催できない状況になりました。

しかし、校長会や社会教育委員協議会などで、毎年児童が楽しみにしている大会をなんとか工夫して継続できないかとの声があがりました。これをうけて継続方法の模索が始まりました。

### 【強力な協力者の登場！！】

このような状況下、町内で競技かるたをしている高校生がいるという情報をキャッチ！声かけして公民館に集まっていただき、現状を説明して大会開催に協力していただけないか相談しました。

高校生たちも小学生の頃にこの大会に参加した経験がありました。高校生たちから、大会運営は競技かるたをしている人が詠み手と審判で5名程度いれば、その他に受付や集計のスタッフ数名で大丈夫との力強い言葉がありました。知人に声をかけていただき、協力いただけることとなりました。こうして課題が解消され、大会開催へ進むこととなりました。

### 【そして大会は開かれた！！】

高校生と学生を中心とするボランティア5名による運営のもと、26チーム（3人1組）の参加で、大会を開催することができました。開会式後に行った競技かるたのデモンストレーションでは、参加児童が競技かるたの迫りに圧倒されていました。その後、その迫りに負けないほどの熱戦が繰り広げられました。一度は開催を断念した大会でしたが、学生ボランティアの協力で、例年より少ないスタッフでスムーズな大会として行うことができました。

高校生たちには引き続き協力をいただけることとなり、令和元年度大会では、さらに受付、会場案内、競技運営など全面にわたって活躍をしていただきました。

### 【どうなる！？今後の大会！！】

令和2年度も引き続き協力をお願いしていましたが、コロナ禍の中で競技かるた界でも活動を中止している中、「百人一首」が室内で密接を避けられない競技であることから、本町の大会も中止にせざるをえなくなりました。

参加児童が競技かるたに興味を持って、高校や大学に進学したり、社会人になってからも、現在の高校生ボランティアの後に続いて大会運営を手伝っていただければうれしいですし、この大会が愛好者による自主運営の大会になればと期待するところです。



競技かるたのデモンストレーション



五色百人一首大会の様子